

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																																	
福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校		平成11年3月31日	花田 一穂	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-262-2118																																	
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																																	
学校法人滋慶学園		昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																																	
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																
文化・教養	文化・教養専門課程	商業音楽科		平成13年文部科学省 認定	-																																
学科の目的	世界が変化中、エンターテインメント業界においても時代の変化に対応できる人材が求められる今、スペシャリストとして専門的な技術/知識/プレゼンテーションスキルを持ち、職業人としてのコミュニケーション力と創造力を持ったグローバル人材を育成する																																				
認定年月日	平成13年3月8日																																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																														
2年	昼間	1800	995	1375	0	0	0																														
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																															
160人		147人	0人	4人	21人	25人																															
学期制度	■1学期:4月1日~9月30日 ■2学期:10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、臨時および定期試験の成績、レポートならびに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点、ABCを合格とし、Dを不合格とする。																																
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月19日~8月21日 ■冬季:12月23日~1月10日 ■学年末:2月23日~3月31日			卒業・進級条件	1. 各年次57単位以上を修得した者は進級・卒業資格を有する。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級認定会議により最終決定する。																																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・定期的な本人との連絡、面談 ・保護者への連絡と連携 ・個別課題の出题 ・個別出席対応・指導 ・特別補講の実施 ・進路相談等			課外活動	■課外活動の種類 地域イベントボランティア、学園祭実行委員  ■サークル活動: 無																																
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) イベント制作会社、技術運営(音響・照明)会社、映像制作会社、舞台制作・演出会社、芸能プロダクション等 ■就職指導内容 ・就職対策授業 ・就職オリエンテーション ・就職カウンセリング ・面接、履歴書指導 ・学内企業説明等の実施 ・オーディション指導 ■卒業生数 92 人 ■就職希望者数 68 人 ■就職者数 68 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 73.9 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・その他進路 24人			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度在籍者に関する令和4年3月31日時点の情報)																																
	(令和3年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舞台機構調整技能士3級</td> <td>①</td> <td>26</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>舞台・テレビジョン照明技術者技能検定2級</td> <td>③</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>足場組立等業務に係る特別教育</td> <td>③</td> <td>55</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>フルハーネス型墜落制止器具特別教育</td> <td>③</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ</td> <td>③</td> <td>62</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>AI-900 Microsoft Azure AI Fundamentals</td> <td>③</td> <td>76</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>JESCC認定コミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>73</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	舞台機構調整技能士3級	①	26	10	舞台・テレビジョン照明技術者技能検定2級	③	14	14	足場組立等業務に係る特別教育	③	55	55	フルハーネス型墜落制止器具特別教育	③	11	11	アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ	③	62	62	AI-900 Microsoft Azure AI Fundamentals	③	76	12	JESCC認定コミュニケーションスキルアップ検定	③
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																		
舞台機構調整技能士3級	①	26	10																																		
舞台・テレビジョン照明技術者技能検定2級	③	14	14																																		
足場組立等業務に係る特別教育	③	55	55																																		
フルハーネス型墜落制止器具特別教育	③	11	11																																		
アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ	③	62	62																																		
AI-900 Microsoft Azure AI Fundamentals	③	76	12																																		
JESCC認定コミュニケーションスキルアップ検定	③	73	72																																		
中途退学の現状	■中途退学者 9名 ■中退率 5% 令和3年4月1日時点において、在学者179名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者168名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、経済的問題、病気療養等  ■中退防止・中退者支援のための取組 中退防止:進路変更委員と担任による進路相談、スクールカウンセラーによる学生相談窓口の実施 中退者支援:グループ姉妹校への転校、再入学の案内																																				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無  ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																																				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																				
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.fsm.ac.jp/">https://www.fsm.ac.jp/</a>																																				

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。  
 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの  
 ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの  
 ③その他(民間検定等)  
 ■自由記述欄  
 就職実績、デビュー実績等は、ホームページに記載  
 URL: <http://www.fsm.ac.jp/>

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成において、企業・団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識、技術を反映するために、企業・団体等が委員として参加する教育課程編成委員会を設置する。また委員会においては、教職員と業界で活躍する非常勤講師が講師会において検討している授業科目の開設や授業方法の改善等の情報や、年2回開催(7月・10月)の合同企業説明会/新人発掘プレゼンテーションでの企業アンケート、また随時教務担当者による企業訪問等を通じての意見も十分に考慮して、教育内容に反映していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成は、理事会のもとに設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮した上で、学科会議において編成を行なうものとし、委員会の適切な運営は理事長が担保することとなっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営することとし、PDCAサイクルの過程により教育課程編成の意思決定を行う。

Pプラン(教育課程編成委員会)、D実行(学校・学科)、Cチェック(教育課程編成委員会)、A改善(学校・学科)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
吉田 孟史	学校法人滋慶学園	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 常務理事
花田 一穂	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学校長
宮崎 美鈴	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和4年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 運営部長
長尾 道孝	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 副校長
花野 恭子	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和4年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 事務局長
佐久間 康明	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 教務部長
古賀 重則	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 事務部長
西本 祐介	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学科長
古谷 望	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学科長
白石 美可	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学科長
中村 理佐	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学科長
吉田 健一	公益社団法人 日本ストリートダンススタジオ協会	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
伊東 宏晃	tearbridge production株式会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
在國寺 穂	何者合同会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
戸田 清章	株式会社日本芸能文化社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
永吉 啓嗣	株式会社リブソン	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
小野 卓哉	合同会社テリー	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
坂口 聡	株式会社フリーダムエンタテインメント	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
高橋 剛	株式会社エスエルアイ	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
奥 功二	株式会社ハーツコーポレーションチーフプランナー	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年6月6日 14:00～16:00

第2回 令和5年2月28日 実施予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

毎年2回実施している教育課程編成委員会は、学校教育全般、専門的な業界知識の向上や現状の業界に対しての教育力を高めるためのご意見やご指導をいただく場としている。ここでいただいたご意見やご要望に関しては、即対応できるものから、時間をかけて取り組むべきことまで様々なものがあり、本校の教育理念に照らし合わせて活かすべきことは積極的に取り入れている。これはカリキュラム・シラバスはもとより、人間教育の面も含まれている。委員会で出た意見の一部とその活用状況は以下の通りである。

近年テクノロジーの発展が勢いを増しており、エンターテインメント業界にも変革期が訪れ、時代と共に現場で求められる人材のスキルも変化している。知識・技術の習得に加え「考えること」に重点を置き、新しい発想や表現方法で今までに無いエンターテインメントをどのように生み出すことができるか、「創造力」を持った人材の育成が業界から求められている。

インターネットの進化により、ビジネスマーケットが国内だけでなく世界中に急激に広がり、配信ライブやバーチャルシステムなどオンライン上でのエンターテインメントが普及したため、英語・韓国語といった語学力のスキル向上に力を入れている。また、デジタルマーケティングを実践的に学び、コンサートやイベントの現場に必要な教育だけでなく、SNSやネットを駆使したビジネス展開ができる人材育成を行っている。その他、SDGsや社会が抱える問題・課題に対してのイベント提案やソリューション開発の授業を展開している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係			
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針			
<p>本校は実践的な能力を有した職業人教育を行うため、業界と学校が連携して行う「産学連携教育」を教育の基本としている。実践的な能力とは、業界の求める専門技術・知識、並びに人間力を持ち合わせた即戦力人材であると考え、その育成を業界とともに実習・演習を実施していくことを基本方針とする。指導は本校の人材育成に賛同頂ける企業等から講師を招へいし実施しており、またカリキュラムの編成は教育課程編成委員会をベースに様々な業界からのヒアリングや企業訪問、校内就職イベント等での接触時において実施し、カリキュラム編成に活かしていくこととする。</p>			
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容			
<p>※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記</p> <p>連携企業と協定書を交わした上で企業課題に取り組む「企業プロジェクト」は、業界のプロからの指導のもと、プロの仕事と同じ工程を経験し、「コンセプト力」「クリエイティブ力」「プレゼンテーション力」等、実践力の修得を目的とした演習である。そのプロセスは、①オリエンテーション、②コンセプト作り、③プランニングコミュニケーション、④制作、⑤プレゼンテーション、の一連の流れを経る。その演習の評価については、制作力と制作過程を通して、実践的な力を身につけているかどうかという視点で判断し、総合的な評価を行う。また職業観や勤労観を養うためにインターンシップ（業界研修）を実施し、企業の担当者の指導のもと、現場体験を深め、更なる即戦力としての技術・知識等の習得を行う。</p>			
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
	科目名	科目概要	連携企業等
	PAテクニック	実習を駆使して、実務の中で経験してきた事案に対して、考察や問題解決力を身に付ける。技術はもとより、相手への気遣い、読解力、状況の判断力、物の大切さ、返事、挨拶、笑顔を忘れず良好な人間関係を築く事を体得する	株式会社TANGA
	イベント照明アドバンス	音楽イベントに対するライティングデザインの基本的な考え方からプランニングまでを詳細にわかり学ぶ。イベントは照明セクションの他に音響・舞台・進行他のセクションと協力しながら行うので各セクションの役割も理解する	株式会社スエスエア
	プランニングアドバンス	音楽ビジネスに必要な知識やマナー、イベント運営の組織・会社運営の知識を学び、音楽ビジネスにおける必須能力である企画プランニングやマーケティングリサーチと、応用力・マネジメントのスキルを身につける	有限会社ビーハイブ
	ソリューション開発	問題解決方法の開発を身に付ける。SDGsやCSRなど、企業が抱える課題や社会課題から解決策を考えることで新しい企画を提案する力やチームビルディングが出来るようになる	一般社団法人KyodoWorks
	ヴァーチャルコンテンツ制作	映像制作の特に編集に特化した授業を行います。編集作業や素材管理、進行、他部署との連携など実際の現場で行われている事例を元に、実践で使える技術を習得する。参考書、テキスト等ではだけでは分からない「仕事」として映像に関わる者としての心構えも身に付ける	株式会社B.b.design
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にを行っていること。」関係			
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針			
<p>研修は教職員規程において、一般教員、学科長、教務部長を対象とし、教員の授業内容・教育技法を改善並びにクラス運営の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定める。研修内容は組織における人材育成・キャリア開発のサポートを目的とする一般社団法人滋慶教育科学研究所（JESC）との連携を通じての研修を中心に、別途業界関連企業が行う教育関係者向け研修を学校として組織的に計画、実施を行うものとする。</p>			
(2) 研修等の実績			
① 専攻分野における実務に関する研修等			
<p>研修名「音楽・映像のサブスクリプションビジネスの未来とアーティストの形」（連携企業等：株式会社ユークリッド・エージェンシー）          期間：令和3年6月12日（土） 対象：講師、教職員          内容：音楽ビジネスがCD・DVD等の買い切り型ビジネスから期間や量に対して対価を支払う課金提供型のビジネスの転換期にある。その変わりゆく音楽ビジネスをLINE MUSICやApple Music等の定額制料金サービス実施企業を通して、その現状と必要な人材像を学ぶ。</p> <p>研修名「ファンエンゲージメントとテクノロジーの融合について」（連携企業等：株式会社日本芸能文化社、株式会社レ・クリエーション、株式会社SKIYAKI）          期間：令和3年6月13日（日） 対象：講師、教職員          内容：デジタルトランスフォーメーション（DX）が音楽エンタテインメント業界でも加加速度的に進んでいる。今やアーティストはSNSから発掘するものまで言われている。また、ファンや人流のDATA分析やトレンドを把握し、認知獲得を理論的に構築することがビジネスにおいて必要不可欠となっている。その基本的理念と今後について学ぶ。</p>			
② 指導力の修得・向上のための研修等			
<p>研修名「未来の音楽制作のカタチ～AI作曲支援“Flow Machines”～」(連携企業等：株式会社ソニーコンピューターサイエンス研究所)          期間：令和3年7月26日（月） 対象：講師、教職員          内容：DX時代の中で、AIとどう向き合うべきなのか、またAIをクリエイティブにどう活用するべきなのか、たくさんのソフトウェアやシステムがある中で、業界をリードするソニーグループの傘下企業様より未来の形を学ぶ。</p> <p>研修名「ひとり人を大切に キッザニア流ホスピタリティ」(連携企業等：KCJ GROUP株式会社キッザニア福岡事業部)          期間：令和3年11月16日（火） 対象：講師、教職員          内容：ひとり人を大切に、気付きを得るためのキッザニア流ホスピタリティについて学ぶ</p>			
(3) 研修等の計画			
① 専攻分野における実務に関する研修等			
<p>研修名「山口哲一氏 職員向け勉強会」(連携企業等：Studio ENTRE株式会社)          期間：令和4年5月31日（火） 対象：講師、教職員          内容：音楽・エンターテインメントとテクノロジーを掛け合わせたビジネスや今後の業界について学ぶ</p> <p>研修名「オーディオミドルウェア Wwise勉強会」(連携企業等：オーディオキネティック・株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント)          期間：令和4年5月31日（火） 対象：講師、教職員          内容：ゲームや空間オーディオ等、双方向コンテンツで使用されている音声コントロール技術について学ぶ</p>			
② 指導力の修得・向上のための研修等			
<p>研修名「滋慶学園COMグループにおける学生支援/指導方針」(連携企業等：滋慶教育科学研究所)          期間：令和4年7月19日（火）、7月20日（水） 対象：教職員          内容：一人ひとりが成長できる学校をつくるための授業作り・クラス作り、個別支援のためのチーム支援や指導方法について学ぶ</p>			

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校教職員による委員の他、卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行なった自己点検・自己評価の内容を審議・評価する事を通じて学校運営の改善に活かす事を基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2)学校運営	学校運営
(3)教育活動	教育活動
(4)学修成果	教育成果
(5)学生支援	学生支援
(6)教育環境	教育環境
(7)学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8)財務	財務
(9)法令等の遵守	法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員の意見を参考にしながら、学校運営の更なる向上に努めていきたいと考え、様々な取り組みを実施している。昨年度はコロナ禍により教育活動や地域支援活動においても制限があったが、今年度は地域における活動も促進してほしいとの意見をいただき、これを受けて本校では新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、地域と相談しながら社会や地域貢献活動に取り組む。教育活動においては情報公開の内容について意見があり、分野ごとの修業年限や到達目標や学習内容をより明確にし、学科やコースの特色を分かりやすく説明する等ホームページの更新を行った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年4月1日現在			
名前	所属	任期	種別
井戸川 誠	有限会社ソウルマティックス	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	卒業生
末永 奈緒美	在校生保護者	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	保護者
戎崎 淳一	福岡市大浜公民館 館長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	地域関係者
稲富 勉	福岡県立香椎高等学校 校長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	高等学校関係者
永吉 啓嗣	株式会社リブソン ディレクター	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者
坂口 聡	株式会社フリーダムエンタテインメント 代表取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者
高橋 剛	株式会社エスエルアイ 専務取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者
奥 功二	株式会社ハーツコーポレーション チーフプランナー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者
戸田 清章	株式会社日本芸能文化社 代表取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )  
URL:[https://www.fsm.ac.jp/school/public\\_info.html](https://www.fsm.ac.jp/school/public_info.html)

公表時期:令和4年6月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会において、評価項目の添付資料として「教育指導要領・重点項目」を閲覧に供することで、教育活動から学校運営の情報が提供できるものとする。また、業界関係者である非常勤講師と教職員との間で開催する講師会において、教育活動から学生情報や学校運営に関する情報を提供していくものとする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	建学の理念・4つの信頼、校長名・所在地・連絡先、沿革、理事(役員)名簿、その他の諸活動に関する計画
(2)各学科等の教育	記入方針、入学資格、収容定員、在学学生数、学年制、カリキュラム、卒業・進級の概要、卒業と同時に取得する称号、卒業資格、卒業の選別、主な就職先、資格検定等、GPA評価、カリキュラム・シラバス
(3)教職員	教職員数、組織図、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、就職・デビュー支援、企業プロジェクト
(5)様々な教育活動・教育環境	校舎設備紹介、学校行事への取組状況
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧、諸費用について、奨学金案内、機関要件の確認申請書
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価委員会
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ、海外実学研修と専門留学
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

URL:<http://www.fsm.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程商業音楽科) 令和4年度															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1		○	ミュージックセ オリーⅠ Music Theory	音楽におけるコミュニケーションに必要な基礎知識（楽譜の読み方・音の理解）を習得します。	1 半	30	2	○			○			○	
2		○	ミュージックセ オリーⅡ Music Theory	音楽による、より緻密なコミュニケーションに必要とされる音程・ハーモニー・リズムの理解を習得します。	1 半	30	2	○			○			○	
3		○	ミュージックセ オリーⅢ Music Theory	楽曲制作やアレンジに必要な基礎知識（スケール・コード進行の理解）を習得します。	2 半	30	2	○			○			○	
4		○	ミュージックセ オリーⅣ Music Theory	プロミュージシャン・作曲家・アレンジャーに必要とされる高度なスケール・コードワークを習得します。	2 半	30	2	○			○			○	
5		○	イヤートレーニ ングⅠ Ear Training	音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創作力を習得します。	1 半	30	2	○	△		○			○	
6		○	イヤートレーニ ングⅡ Ear Training	音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創作力を習得します。	1 半	30	2	○	△		○			○	
7		○	イヤートレーニ ングⅢ Ear Training	音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創作力を習得します。	2 半	30	2	○	△		○			○	
8		○	イヤートレーニ ングⅣ Ear Training	音程・和音・リズムの聴き分けが出来る聴力を習得します。	2 半	30	2	○	△		○			○	
9			○ グローバル コミュニケー ションⅠ Global Communications	英会話をネイティブスピーカーより基礎から学び、国際社会に対応する為の、コミュニケーション力を養います。	1 ・ 2 通	120	8	○	△		○			○	
10			○ グローバル コミュニケー ションⅡ Global Communications	英会話をネイティブスピーカーより基礎から学び、国際社会に対応する為の、コミュニケーション力を養います。	1 ・ 2 通	360	24	○	△		○			○	
11		○	韓国語講座 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ Korean	ハングルを基礎から学び、国際社会に対応する為のコミュニケーションスキルを養います。	1 ・ 2 通	120	8	○			○			○	
12		○	IT講座 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ IT Class	Word・Excel・PowerPointなどのビジネスソフトから映像編集、WEBデザイン、グラフィックデザインなどのアプリケーション操作方法を学びます。	1 ・ 2 通	120	8	○	△		○			○	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程商業音楽科) 令和4年度															
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
								講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		コミュニケーション スキルアップ Communication Skill Up	社会人・職業人になるために必要な基本的なマナー・コミュニケーション能力を養います。	1 半	30	2	○			○			○	
	○		キャリア教育 I・II・III・IV Career Education	様々なワークショップを通して人間関係形成能力・情報活用能力・将来設計能力・意志決定能力を養います。	1 ・ 2 通	120	8	○	△		○		○	○	
		○	海外実学研修 Study Abroad- Short Term	国際教育の一環として、海外の企業や提携校等での研修、ネイティブとの交流を通じ、グローバル感覚を養成します。	1 通	60	4		○			○		○	
		○	特別講義 Guest Lecture	業界よりトップ・プロフェッショナルを招聘し、最新かつ高度な技術・知識、世界水準の思考法等を学び、課題発見・克服に役立てます。	随 時	随 時	認定	○	△		○			○	○
		○	インターンシ ップ Internship	最終学年次に業界企業（特に志望企業）の現場で実際の業務に携わり、内定獲得を目標に実践力を習得します。	随 時	随 時	認定		○			○		○	○
		○	キャリア クレジット Career Credits	学内外を問わず、就職・デビューを目的とした専門分野活動に対し、報告書提出を以って単位認定を行います。	随 時	随 時	認定		○		○	○	○	○	
	○		企業プロジェクト Work Assignments	産学連携教育システムの一環として業界の企業からいただく課題に応え楽曲・作品・イベント制作等に取り組み実践力を養成します。	随 時	随 時	認定		○		○	○		○	○
	○		進級制作 Required Project	進級に際し、年間の学修成果を作品提出・発表等の形式で表し、そのクオリティの評価を以って単位認定を行います。	1 半	30	2		○		○	○	○	○	○
	○		卒業制作 Graduation Project	卒業に際し、在学時の学修成果を作品提出・発表等の形式で表し、そのクオリティの評価を以って単位認定を行います。	2 半	60	4		○		○	○	○	○	○
		○	PAベーシック I・II Public Address Basic	PAの基礎を学び、PAエンジニアとして必要なオペレーション技術を身につけます。	1 通	120	8	○	△		○			○	
		○	音響機器オペレート I・II Acoustic Equipment Operate	音響機材の名称やセッティング・操作方法など、機材についての知識を学ばす。	1 通	120	8	○	△		○			○	
		○	音響学 I・II Sound Science	音響の知識・概念・役割など、基礎的な知識を学びます。	1 通	60	4	○			○			○	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程商業音楽科) 令和4年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○		楽器知識 I・II Instruments Knowledge	楽器の名称や知識・音色など、楽器についての知識を学びます。	1通	60	4	○	△		○			○	
		○		DAWベーシック I・II Digital Audio Workstation Basic	DAWソフトウェアであるProToolsを学び、録音や音源編集の技術を身につけます。	1通	60	4	○	△		○			○	
		○		現代音楽史 I・II Modern music history	音楽のルーツやジャンルを学び、様々なアーティストに対応できる知識を身につけます。	2通	60	4	○			○			○	
		○		照明概論 I・II Lighting Concept	舞台照明の基礎知識として、さまざまな照明機材やホールに関する知識や、光の効果を学びます。	1通	120	8	○	△		○			○	
		○		ライティングベーシック I・II Lighting Basic	舞台・コンサートの照明技術の基礎を学びます。	1通	120	8		○		○			○	
		○		ムービングベーシック I・II Moving Lighting Basic	主にムービングライトの使い方や仕組みの基礎知識・技術を学びます。	1通	120	8		○		○			○	
		○		イベント照明ベーシック I・II Event Lighting Basic	ライブやイベントの照明実習を通じてさまざまな照明の基礎を学びます。	1・2通	120	8		○		○	○		○	○
		○		イラストレーター・フォトショップ I・II Illustrator・Photoshop	イベントなどの照明プランの資料や舞台・撮影で使用する美術装飾品のデザインを、パソコンを使い作成できるように学びます。	1通	120	8	○	△		○			○	
		○		舞台機構・電気知識 I・II Stage mechanism& Electric	コンサートスタッフとして必要な電気の種類・構造・知識を学びます。	1通	60	4	○			○			○	
		○		舞台機構・電気知識 III・IV Stage mechanism& Electric	コンサートスタッフとして必要な電気の種類・構造・知識をさらに深く学びます。	2通	60	4	○			○			○	
		○		舞台知識 I・II Stage Knowledge	舞台やコンサートに関する基礎知識を学びます。	1通	60	4	○			○			○	
		○		舞台ベーシック I・II・III・IV Stage Basic	舞台上のマナーや舞台の仕組み・美術セットを作るための道具使用方法・実際の制作など、舞台における全般の知識を習得します。	1・2通	480	32	○	△		○			○	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程商業音楽科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		ステージデザイン&CAD I・II・III・IV Stage Design & CAD	CAD操作の習得を通して、自分が見ている世界を観察し分析し、再構築する能力を養います。立体的なデザイン技術を学びます。	1・2通	240	16	○	△		○			○	
	○		舞台ワークショップ I・II・III・IV Stage Workshop	デッサンや色付けなど、様々なデザインを描き、美術に対するスキルアップにつなげます。	1・2通	360	24	○	△		○			○	
	○		Set Design I・II・III・IV Set Design	ベクターワークスを使用しての美術セットデザイン・図面作成やステージプロット作成などを学びます。	1・2通	240	16	○	△		○			○	
	○		イベントビジネス プランニング I・II Planning for Event Business	音楽ビジネスに必要な音楽業界の知識やマナーなどを学びながら、イベント運営の組織・会社運営の知識などを学びます。	1通	120	8	○	△		○	○		○	○
	○		イベントビジネス プランニングゼミ I・II Planning for Event Business	音楽業界に関わるビジネス知識全般を学び、メディアや企業やお客様と実際に関わりながら音楽ビジネスを実践します。	2通	120	8	○	△		○	○		○	○
	○		イベントプロダクション ベーシックI・II Event Production Basic	イベントを企画立案・制作する際に必要なスタッフの仕事内容や企画の立て方・打合せ方法・プレゼンテーションの仕方などを学びます。	1通	60	4	○	△		○	○		○	○
	○		イベントプロダクション I・II Event Production	他学科・コースと共同制作し、コンサートやイベントの本番を行いながら実習を通して現場力を身につけたり、業界のマナーを教わります。	2通	60	4	○	△		○	○		○	○
	○		Webデザイン I・II・III・IV Web Design	チラシやチケット、グッズやホームページ制作などに必要なIllustrator・Photoshop等の操作方法や各種技術を学びます。	1・2通	240	16	○	△		○			○	
	○		カメラワーク ベーシック I・II Camera Work Basic	カメラの操作方法を習得し、場面やシーンに合わせたカメラの操作方法を学びます。	1通	60	4	○	△		○	○		○	○
	○		映像編集ベーシック I・II Video Editing Basic	Adobe Premiere Proの操作方法を通し、映像編集の基礎を学びます。	1通	60	4	○	△		○			○	
	○		映像機器オペレート I・II Video Equipment Operate	映像機材の知識や操作方法習得し、イベントの撮影やロケでの機材のセッティング方法を学びます。	2通	60	4	○	△		○	○		○	○
	○		PAアドバンス I・II Public Address Advance	より複雑なPAの技術を学び、即戦力となるオペレーション技術を身につけます。	2通	120	8	○	△		○			○	



授業科目等の概要

(文化・教養専門課程商業音楽科) 令和4年度															
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
								講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		イベント制作ゼミ I・II Event Production Seminar	イベント制作を通し、音響技術の向上を図るとともに、イベントの運営や進行の知識を身につけます。	2 通	240	16	○			○	○	○	○	
	○		レコーディング ベーシック I・II Recording Basic	レコーディング技術を学ぶとともに、音や楽器に関する様々な知識を知り、より良い音を再現できる技術を学びます。	2 通	120	8	○	△		○			○	
	○		S R 技術 I・II Sound Reinforcement Technology	音響機材の特性を学び、いかなる場所や条件でも最適な音が出せるような知識と技術を学びます。	2 通	120	8	○			○			○	
	○		P A クリー ション I・II PA Creation	ミュージカルを通し、様々な音響技術を身につけるとともに、業界人としてのマナーやルールを学びます。	1 通	120	8	○	△		○	○		○	○
	○		配信技術 I・II Broadcast technology	オンライン配信を行う際に必要な知識や技術を学びます。	1 通	60	4	○			○	○		○	○
	○		ライティングア ドバンス I・II Lighting Advance	舞台、コンサートの照明技術のより高度な応用を学びます。	1 ・ 2 通	120	8	○			○			○	
	○		ムービングア ドバンス I・II Moving Lighting Advance	主に、ムービングライトの使い方や仕組みの応用知識・技術を学びます。	1 ・ 2 通	120	8	○			○			○	
	○		イベント照明ア ドバンス I・II Event Lighting Advance	ライブやイベントの照明実習を通じて技術力や応用力を高めます。	2 通	120	8	○			○	○		○	○
	○		ライティング ワークショップ I・II Lighting Workshop	1年次に学んだ知識・技術を生かし、照明オペレーターとしての対応力・応用力などを学びます。	2 通	120	8	○			○			○	
	○		照明基礎 I・II Lighting Basic	業界で必要な業界用語や照明の基礎的知識・メンテナンス等を学びます。	1 通	60	4	○			○			○	
	○		ビジネスP C ス キル I・II Business PC Skill	資料や企画書等のビジネスデータ作成のため、ビジネスソフトWord・Excel等のより高度なスキルアップを図ります。	1 通	60	4	○	△		○			○	
	○		L I V E / イ ベ ント 制 作 I・II・III・IV LIVE/EVENT Production	「考える」ことや「モノを作る」ことを鍛えます。企画立案、実行力を養います。	1 ・ 2 通	120	8	○	△		○	○		○	○

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程商業音楽科) 令和4年度															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
61		○	舞台基礎 I・II Stage Basic	舞台美術の基本、道具の使い方をはじめ、ステージスタッフの技術・知識・マナーを学びます。	1 通	60	4	○	△		○			○	
62		○	ステージプラン ニング I・II Stage Planning	舞台セットの基本・構造やベクターワークスを使用して図面作成など、ステージを作る過程を学びます。	2 通	120	8	○	△		○			○	
63		○	P A 基礎 I・II PA BASIC	コンサート・イベント現場での基礎的なPA知識を学びます。	1 通	60	4	○	△		○			○	
64		○	楽器基礎 I・II Instruments Basic	コンサート・イベント現場で使うベーシックな楽器の知識を学びます。	2 通	120	8	○	△		○			○	
65		○	文章表現 I・II Text Representation	プロモーションに必要な資料やキャッチコピー・インタビューに必要なスキルなどを身につけます。	1 通	120	8	○	△		○			○	
66		○	ビジネスマネジ メント I・II Business Management	音楽業界の仕組みとこれまでの歴史、ビジネスにおける契約と権利関係に関する知識を身につけ、実践力を養成します。	1 ・ 2 通	120	8	○	△		○			○	
67		○	カメラワークア ドバンス I・II Camera Work Advance	より高度なカメラ技術を学び、様々な場面やシーンに対応できる技術を身につけます。	2 通	120	8	○	△		○	○		○	○
68		○	ヴァーチャルコ ンテンツ 制作 I・II・III・IV Virtual Contens Production	時代に合わせた映像技術や機材を学び、常に新しい作品を作れるような知識を身につけます。	1 ・ 2 通	240	16	○	△		○			○	
69		○	映像編集アドバ ンス I・II Video Editing Advance	Adobe After Effectの操作方法を通し、映像編集の応用技術を学びます。	2 通	60	4	○	△		○			○	
70		○	映像制作 I・II Video Production	映像作品の企画発案から、撮影準備、撮影、編集までの一連の流れを学び、自分で作品を作れるような知識・技術を学びます。	1 ・ 2 通	480	32	○	△		○	○		○	
71		○	ドラマ制作 I・II Shoot A Drama	ドラマの制作を通し、脚本制作から映像演出の基礎を学び、実際に作品制作を行います。	2 通	60	4	○	△		○	○		○	
72		○	撮影技術 I・II Shooting Technology	様々なシーンでの撮影技術と、撮影現場でのマナーやルールを学びます。	2 通	120	8	○	△		○			○	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程商業音楽科) 令和4年度															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
73	○		ワークショップ Workshop	学内および学外から依頼を受けたイベント等の実施時に必要とされる企画・管理・運営・制作等の現場力を養います。	随時	随時	認定	○	△		○	○		○	○
74	○		ゼミ Seminar	作品制作など特定の課題に対し研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養成します。	随時	随時	認定	○	△		○	○		○	○
75	○		プロジェクト Project	産学連携教育の一環として業界企業からの課題に応じて楽曲・作品・イベント制作等に取り組み、実践力を養成します。	随時	随時	認定	○	△		○	○		○	○
合計					73	科目		7800単位時間(520単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
1710単位時間(114単位)	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。